

2011年3月11日

東日本大地震・津波・原発事故
被災地・被災者を覚える礼拝

主催：日本基督教団兵庫教区

日時：2022年3月11日（金）午後2時～3時

場所：オンライン・ライブ映像配信

<https://www.youtube.com/watch?v=f1bN8wTZYTA>

配信協力：小栗献(神戸聖愛教会)



奏樂者 前田幸子 (神戸聖愛)
司式者 東島勇人 (兵庫松本通)
説教者 柳本和良 (鈴蘭台)

前	奏		奏樂者
招	き	詩編篇 139 篇 11～12 節	司式者
賛	美	み言葉をください (讚美歌 21-58)	一 同
祈	り		司式者
聖	書	ローマの信徒への手紙 8 章 22～26 節	司式者
説	教	「霊が、うめきをもって」	説教者
祈	り		説教者
黙	祷		一 同
賛	美	主は、わたしを究め (讚美歌 21-166)	一 同
終	祷		説教者
後	奏		奏樂者
報	告		

招 き

わたしは言う。

「闇の中でも主はわたしを見ておられる
夜も光がわたしを照らし出す。」

闇もあなたに比べれば闇とは言えない。

夜も昼も共に光を放ち

闇も、光も、変わるところがない。

(詩編 139 篇 11～12 節)

日本聖書協会『聖書 新共同訳』より

礼拝 神のことば・聖書
み言葉をください

[II 80]

詞：今駒泰成，1926—

MIKOTOBA
曲：小山章三，1930—

1 みことばを ください、 ふりそそぐ あめ
2 みことばを ください、 ふくかせの よう
3 みことばを ください、 くさにおく つゆ

の ように、 めぐみの 主よ。
に つよく、 すくい の 主よ。
の ように、 いのちの 主よ。

うえとかわきに あえぎくる しみ、
からみつくつみ ねこそぎされ て、
ひととひととの ころかよわ ず、

やみじさすらういのちのため
 いのちあらたにめばえるため
 みだれあらそうせかいのため

(♩=92)

- 1 み言葉ことばをください、
 降りふそそぐ雨あめのように、
 恵めぐみみの主しゅよ。
 飢えと渴かわきに あえぎくるしみ、
 やみじさすらう
 いのちのために。

ア-メン。

- 2 み言葉ことばをください、
 吹く風かぜのように強く、
 救すくいの主しゅよ。
 からみつつみく罪ね根ねこそぎされて、
 いのちあらたに
 芽め生ばえるために。

- 3 み言葉ことばをください、
 草くさにおく露つゆのように、
 いのちの主しゅよ。
 人ひとと人ひととの ころかよわず、
 乱みだれあらそう
 世界せかいのために。

聖書

被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。被造物だけでなく、“霊”の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。わたしたちは、このような希望によって救われているのです。見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。

(ローマの信徒への手紙 8 章 22～26 節)

主は、わたしを究め

版：改訂委員会、1995

FEDERAL STREET
曲：Henry K. Oliver, 1800-1885

1 主は、わたしを究め、すわの座も立つをも、歩むも伏すをも、あなたは知りたもう。

2 主よ、あなたはいます。天のはて、地のはて陰府にくだるとも、み手もて導く。

3 海原のかなたにわたしが住むとも、主の右のみ手はわたしをささえる。

4 主はすべて知りたもう、母の胎内にわたしを組み立て、造られた日をも。

5 主よ、わたしを究め、迷える心をとこしえの道に導かせたまえ。

つをはとも、あよむむもふだす-を-も、
 > のむなこはといるにをわとたこししえのくのみみ-手-はて、
 > なこはといるにをわとたこししえのくのみみ-手-はて、

あみなたはしみりたもう。
 > みわ手もはてさみちびえく。
 > つたくしをれかたせ日たをまもえ。

アーメン。

(♩=72)

- 1 主は、わたしを究め、
 座も立つをも、
 歩むも伏すをも、
 あなたは知りたもう。
- 2 主よ、あなたはいます。
 天のはて、地のはて
 陰府にくだるとも、
 み手もて導く。
- 3 海原のかなたに
 わたしが住むとも、
 主の右のみ手は
 わたしをささえる。
- 4 主はすべて知りたもう、
 母の胎内に
 わたしを組み立て、
 造られた日をも。
- 5 主よ、わたしを究め、
 迷える心を
 とこしえの道に
 導かせたまえ。

詩139 ヨブ10：8-12

エレ1：5、12：3 ヨハ21：17

2011年3月11日の東北地方太平洋沖大地震・大津波、東京電力福島第一原子力発電所事故から一年の兵庫教区宣言

1. 東北の被災地、被災者に直接届く支援に幅広い人たちのつながりで力を注いできた兵庫教区及び被災者生活支援・長田センターは、これからもそのつながりを尊重しつつ、支援の働きを継続する。
2. 17年前の兵庫県南部大地震から5年、兵庫教区は「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」で、被災の後の歩みで「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を宣教の指針としてきた。2011年3月11日の東北の大地震・大津波の後の被災地、被災者の支援においても、兵庫教区はその告白を基本にしてきた。東北の被災地、被災者の支援にあたって「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」を指針としてきた兵庫教区は、これからの支援にあたって「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を支援の基本とする。
3. 2011年3月11日の東北の大地震、大津波の後を生きる人たちの生活すべてを、東京電力福島第一原子力発電所の事故が何よりも難しくしている。兵庫教区は、その事故においても、被災地、被災者に直接届く支援に力を注いできた。これからも、放射能で生活のすべてを奪われ、脅かされ続ける人たちに直接届く支援に力を注ぐ。

第66回／「合同」後43回兵庫教区定期総会採択
(2012年5月20日～21日)